

日本共産党区議会議員  
Japanese Communist Party

# 安藤たい作

区政報告 ニュース 第42号

## 「密室」で学校の統廃合を検討？

### 「適正規模」の名のもとに、小規模学校を統廃合するための「学事制度審議会」が設置されました



突然の区議補選で初当選、区議会に送って頂いたのが今年の10月8日。それからはや一年が経ちました。そろそろ慣れる・どころか、いっそう自分の役割の重みをズシッと感じています。今後ともよろしくお願いします。



漫画：安藤たい作

子どもが増える中で「統廃合」理解できず

区は統廃合を検討する理由の一つとして「児童数の半減」をあげています。たしかに現在の学校数が整備された昭和50年当時と比べれば減っています。ここ十年の区内出

6月12日の教育委員会には区の企画部長が出席し、「区長部局からの提案」として「小規模学校の統合・再編によりコスト削減が求められている」と発言し、統廃合推進のための審議会設置の必要性を迫っていました。教育にまでコスト論を持ち込むのは世も末、です。子どもの数に合わせたわざわざ学校の数を減らし、教育環境を後退させる統廃合ではなく、今こそ、一人ひとりが主役になれる少人数教育に踏み出すべきです。

#### 区長部局が国の「コスト論」持ち込む

- ① 適正な学校規模
- ② 適正な規模別学校配置
- ③ ①②を実現する為の方策

出生年度	区内出生数	区内小1児童数
2000(*)	2351	1784
2001	2341	1896
2002	2316	1857
2003	2393	1938
2004	2528	1866
2005	2583	1988

\*2000年は学校選択制が導入された年です

品川区は「不適正規模」のレッテルを貼って地域の小規模校を統廃合する計画の検討を始めました。子どもの数は減っていないのになぜ今統廃合する必要があるのでしょうか。学校選択制の導入にあたっての「統廃合はしない」の約束も反故にするものです。

若月教育長は、さる8月1日「学事制度審議会」の設置を決めました。学識経験者や町会、PTA関係者、校長など13人で構成され、

生数はむしろ増加傾向(左表)。更に学校選択制導入時の7年前、区は「統廃合はしない」と約束していました。なぜ今になって「統廃合」を持ち出すのでしょうか。

安藤たい作プロフィール '74年宮城県仙台市生まれ。国立宮城教育大卒。'98年漫画家を志し上京。'02年青年誌奨励賞受賞。'06年の区議補選で初当選。

安藤たい作ニュースは、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。ご意見・ご感想をお寄せください。